



ミラノ・コルティナ 2026 冬季五輪開幕



今朝の浅草“雷門前”

ここ高円寺は、昨日の昼頃からパラパラと雪が降り始めましたが、一昨日 16℃と暖かかったので、積る気配はありませんでした。今日の未明から再び降り始めたのか、目覚めた時にはベランダの外の景色は真っ白、積雪 1cm 程度の久々の雪景色に心躍りました。その後も雪は降り積もり、おそらく 5cm くらいまでとかー僕が東京で暮し始めて、一番の雪景色かもー。でも千葉方面をはじめ、箱根や奥多摩、八王子などはもっと積もっているようです。道路の雪はどんどん融けていきますが、屋根はしばらく残りそうです。それでも北陸や東北、北海道のここ 2 週間のドカ雪に比べれば、カワイイものです。先月 20 日から続いている豪雪による死亡者は 38 人、けが人が 413 人とのこと。これも記録的な被害となっています。高市さんのタタリじゃないでしょうか？

“ミラノ・コルティナ 2026 冬季五輪”が昨日から始まりました。開会式前からスケートやスキーの競技が始まり、日本勢の活躍が際立っています。スノボ男子ビッグエアは人間業とは思えない超難度のパフォーマンスで金、銀独占、どうやったらあんなことができるのか、僕には想像もつかない世界です。あまりライブでは観ていませんが、ハイライトの映像で結構愉しんでいます。

そして、今日は衆院選投票開票日、日本全国雪だらけ、こんな時に選挙なんかやるなよと“反タカイチ”票が増えてほしいものですが、大新聞は高市自民単独過半数、週刊誌と民放各社はどちらかといえばアンチ高市、どちらが真実なのか、明日にならなければ分かりません。僕たちはようやく届いた投票用紙を持って 4 日(水)、期日前投票を済ませてきました。はて？どうなることやら…。今朝の東京新聞 1 面“筆洗”です。

#### 筆洗 2月8日付

昔から「二月は逃げる」というが、この衆院選のせいか、今年とはびきり逃げ足が速いような感じがする。なるほど触れ込み通りの「真冬の短期決戦」で、本日ははや投票開票日である▼選挙のたびに思い出す困った言葉がある。「善魔」である。「悪魔」に似ているが、もっとタチが悪い。作家の遠藤周作さんがその特徴を書いている。自分の主張や考えだけが正しいと信じる人のことで自

分の主義にあわない者を軽蔑する。正しいのは自分だけなので他の人間の悲しみやつらさが分からない▼独り善がりな正義感と言ひ換えられるだろう。「彼らはいつも正義の旗じるしをかかげる。そしてそれに少しでも従わぬ者や、自分にくみしない者を悪の協力者としてみなしてしまう」▼自分の政策の正しさを訴え、ライバルを批判するのが選挙戦ならば、政治家が「善魔」になるのはやむを得ないところもあるか。なれど投票する有権者まで「善魔」なんぞに取りつかれたくはない▼支持する政党ではないからといって誹謗中傷や演説を妨害するような行為は「善魔」の仕業だろう。特定の政党をおとしめるフェイク動画も後を絶たない。選挙のたびに対立し、ギスギスする時代が息苦しい▼投票所で隣り合わせた人にはほほ笑むとしよう。投票先は違うかもしれないが「悪の協力者」ではない。形は違っても日本の幸せを共に願う人である。

個人的には、“政見放送”は大キライ派、何が真実で何がフェイクなのか全く識別できないし、各党の主義主張の違いが分かりにくい、立候補者の本気度もまったく読めない、電波の無駄遣いと思っております。でも他の人たちの中には、真剣に放送を聞き入り、党や立候補者を選んでくれる方もいらっしゃると思いますので、それはそれで批評するつもりもありません。特に今回の選挙は、高市早苗さんご本人が国民に“タカイチサナエでいいのか、真を問う”といっているのです、完全に主義主張を置いていて人気投票に走っています。高市早苗、野田佳彦、斉藤鉄夫、玉木雄一郎 etc.政党関係なく誰が好きかを選んでくれと言わんばかりです。書いていてむなしくなってきました。ただ高市さん—自民党？—が単独過半数を取ると、“スパイ防止法”、“国旗損壊罪法”、“旧姓通称使用法”、“旧宮家男系男子の養子を認める皇室典範改正”、さらには安保3文書の改定で米国寄りの軍拡拡大、攻撃兵器の輸出拡大、非核三原則を破棄して核武装化、その他小中学校教育では道徳、歴史、公民などの戦前回帰、家父長制の盛り込みなどがイッキに国会で法案が可決という何やら恐ろしいことが起こりそうな予感がします。国民のひとりとして、そうならないことを祈るばかりです。東京新聞、本日の“時代を読む”田中優子さんのコラムです。

時代を読む 2月8日付

サナエファンのかたへ(抜粋)

田中 優子 — 法政大学名誉教授・元総長 —

まずはお笑いから。

まだ投票がお済でない全国のサナエファンのかたは、投票用紙に高市早苗と書きましょう。

こういう呼びかけがあつて思わず笑った。昨今の政治が「推し活」になっていることを象徴している。もちろん奈良2区以外では無効となる。比例代表は「サナエさん所属の中道と書くと良いですよ」とささやく方もいるとか。自民党を知らないサナエファンもいるからだという。

政治全体が芸能界と化し、ハンドバッグや洋服、「頑張っている」話で盛り上がる。何に頑張っているかは知らなくても一向に構わない。

もう一つ、「比例代表の投票用紙に『自民党』と書くと裏金議員が当選し復活してしまいます。絶対にやめてください」という張り紙があったそう。これ全ての投票場に張り出したいよね、と言った人がいた。無論許可されるはずもないのだが、「絶対やめてください」という言い方が「飲酒運転はやめてください」とか「痴漢は犯罪です」などに似ていて笑いを誘う。自民党に票を入れれば裏金議員が当選する確率は確かに高いので、「社会をダメにする行為」であることを明確に伝えている。

本文はここから本題に入っていくのですが、話の枕としてはとても秀逸で読み応えがありました。さすが元法政大学の総長を務めた方のペンの力です。ぜひこれを読んで、どんな投票をするのか、決めていただきたいものです。選挙投票日につきもう一題、東京新聞“本音のコラム”三木義一さんの論評です。

あきらめないよ～！ 2月5日付

三木 義一 — 青学大名誉教授 —

「ご隠居、選挙予測、自民大勝のようですね」

「日本の主権者は、旧統一教会や裏金議員問題をどう考えているのかの」

「あの予測は確かなんですかい？」

「さあな～。各国では大外れというも最近で目に付いているがの～」

「おや、最近ではどんなのが？」

「例えば、2024年のインド総選挙なんかがそうだ。与党の歴史的圧勝の予想が過半数割れ、連立で何とか政権維持」

「外れる原因は？」

「メディアに本当のことを告げない人がいるそうだ。当日まで決めない人もいるだろう」

「じゃ、日本も？」

「固定電話が減っているけど、投票率がかなり低いので、けっこう当たるそうじゃ。前回は54%。4割以上の人が投票していないからの」

「この4割の人が投票に立ち向かったら予測と違う結果にもなりうる」

「そうだよ。なんとか高齢者にも若者にも投票してほしいの。特に若者は戦争になったら犠牲になるのは彼らだからよく考えてほしいの」

「高齢者は？」

「YouTubeの『94歳の独り言』で日曜討論を欠席した高市氏の代弁者の発言に触れていた。若者も見てほしいの～！」

「一番大事なことは」

「あきらめずに、高齢者も若者も、SNS情報が作り出す空気を蹴飛ばして、投票へ！」

今般の豪雪で投票に行けない高齢者やめげた若者がどれほどになるか、そしてそれが選挙結果にどんな影響を及ぼすか、自民党過半数割れにでもなったら、この時期に選挙に打って出た高市さんのおかげということになりそうです。神頼みするしかありません。

閑話休題的に雰囲気を変えます。とてもふんわりとした親子のあり方が表現されています。東京新聞、映画監督御呉美保さんのコラムです。

熱風涼風 2月5日付

息子の質問

呉 美保 — 映画監督 —

3カ月ほど前から、5歳の次男は朝起きて第一声「ぼくのこときらい？」と聞いてくる。その後も食事中、歯磨き中、着替え中、入浴中、寝る直前まで聞く。

私は「大好きだよ」と答える。すると「なんばんめにすき？」と続く。

心に余裕のある日は菩薩のように答えるが、忙しかつたり疲れていると「何度も聞かないで」と言い放ってしまう。心の中の育児警報が鳴り響き、駄目な母親ランキングが更新される。

兄弟は5歳差。仕事や兄の習い事の都合で、次男はシッターさんと過ごす時間がある。人懐っこく、場を和ませるのが得意。時に空気を読むのがうますぎて繊細さに驚かされることも。

どうしてそんなに聞くのと尋ねると「わすれちゃうの」と次男。なるほど、5歳の心には愛情保存機能はまだ搭載されていないのか。いや、そういうこと？

悩んだ末、チャッピー(ChatGPT)に手を伸ばす。「5歳の次男が四六時中『ぼくのこときらい？』と聞いてきます」と打ち込むと想像以上に的確かつ、優しく返答してくれた。「この相談ができるあなたは、十分愛情深い母親です」。図らずも、私が肯定されてしまった。

チャッピーは言う。「きらい？」は信頼があるからこそその質問だと。だから同じ言葉を同じ順番で、淡々と返し続けることで彼の体に染み込み、ある時ふと「もう聞かなくても大丈夫」となるでしょうと。

AIに救われた2026年の始まり。さあ息子よ、忘れてしまうなら何度でも聞いておくれ。母も、何度でもチャッピーに聞くのだから。

とっても愛情あふれる素敵な文章です。きっとこんな感性で映画創りもしているのかなと感じています。僕にも子どもが小さい頃、こんなエピソードがあったのかなと思いついているところです。昼が過ぎたら、雪はだいぶ落ち着いてきました。舗道もだいぶ路面が見えるようになってきました。何年かぶりで冬用のブーツを履いて散歩&買い物に出かけてきました。気温はまだ0°Cに近いようでコートの上から寒さが沁みとおってくる感じでした。僕の記憶では、東京に雪が積もるのは日曜日が多いように思われます。なので、かつて仕事で通勤していた時代に雪の中を歩いたという記憶がありません。日曜の夕方、わずかな積雪でツルツル滑って転んでいる映像で笑った記憶があります。